

事業所名

日付

評価機関名 特定非営利活動法人
高齢者・障害者生活支援センター

評価調査員 ①
②

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

- ・ 小高い丘の中腹に建てられた施設であり、街の中では考えられない雄大な空間と自然とのマッチングで、オアシスを思わせる落ち着いた雰囲気が醸し出されている。
- ・ 施設の玄関には、番犬(1才半 柴犬 リリちゃん)がおり、訪問者を暖かく迎えてくれる。
- ・ 敷地の菜園で収穫された季節の作物が食卓を彩り、利用者の食欲を向上させている。
- ・ 施設長は「利用者のご家族への安心と満足を提供していきたい」と語っており、その中で特に気をつけているのは人間性である。「一人は万人のため、万人は一人のために」の精神を目標に持って、職員全員がケアに当たって貰いたいと考えている。
- ・ 天気の良い日は、四季折々の風景を身体全体で体感しながら散歩をしたりと、最高の環境の中で、心と身体の健康が維持されている。この落ち着いた環境を最大限に生かして、利用者さんに生きていく喜びを還元していく施設である。

特に改善の余地があると思われる点

①施設内の空間の工夫と利用者さんの生活歴に添った趣味活動への働きかけを更に積極的に取り組んで行って欲しい。

②職員間の情報の共有化と研修参加により、介護技術の質向上に今一層取り組んで行って欲しい。

Ⅲ ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|-------------------------------------|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | ○ | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | ○ | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 | ○ | |
| 20 | プライドを大切にした整容の支援 | ○ | |
| 21 | 安眠の支援 | ○ | |
| 22 | 金銭管理と買い物の支援 | ○ | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 | ○ | |
| 24 | 身体機能の維持 | ○ | |
| 25 | トラブルへの対応 | ○ | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | ○ | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | ○ |
| 28 | 服薬の支援 | ○ | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | ○ | |
| 30 | 家族の訪問支援 | ○ | |

記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護の為に取り組んでいるものは何か。

広い敷地内にある家庭菜園や周囲の環境を生活の場に取り入れて、各々が自ら選択できるような環境が整っている。その中で残存能力を生かしたプログラムづくりが今後の課題の1つである。

個々の生活歴に合わせた支援こそがグループホームの原点であり、その目標に職員が一体となって取り組んで行っている。

Ⅳ 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|-------------------|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | ○ |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | ○ | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | ○ | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | ○ | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | ○ | |

記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

各種研修参加により職員への情報伝達を通してケアの質向上を行っているが、より一層の努力が望まれる。

イベントの企画は入居者・家族への楽しみとなり、定着してきているので今後も継続を望む。

施設の理念の中にもある入居者・御家族への「満足」と「安心」を提供することで職員が一体となってケアの質向上に向けてより一層の努力により、入居者さんが安心した生甲斐のある生活が送れるよう支援体制づくりを強化して貰いたい。

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | ○ | |

記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か。

五感を刺激するよう住空間・生活シーンを演出し、全員参加で明るく楽しく生甲斐を創造することを目指している。

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|-----------------------|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間づくり | ○ | |
| 3 | 入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり | ○ | |
| 4 | 建物の外周りや空間の活用 | ○ | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | ○ | |

記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。

入居者・職員が1つの家庭の一員として作業も分担し、共同作業ができる場を設け、入居者が施設を《我が家》と思えるような取り組みを行っている。

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | ○ | |
| 7 | 個別の記録 | ○ | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | ○ | |
| 9 | チームケアのための会議 | | ○ |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | ○ | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | ○ | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | ○ | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | ○ | |
| 14 | 一人のできることへの配慮 | ○ | |
| 15 | 入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 | ○ | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | ○ | |